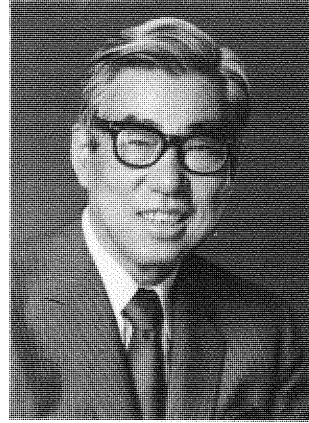


祝辞

三宮センター街三十年史刊行に寄せて



兵庫県知事

畑井 時忠

戦後三十年―その歴史とともに歩み育った三宮センター街は、いまや神戸はもとより、日本の顔となりました。この華麗なるファッションタウンは、人と人との出会いをつくり、交流の輪をひろげていくなかで心の乾きをうるおし、暮しに夢と希望をもたらししてくれました。

もはや商店街は商品を買求める場としてではなく、新しい人間を再生する場であり、コミュニケーションを創造する場ではなくてはならないでありましょう。

日々国際化する社会、その先頭をいく旗手として三宮センター街のはれやかな前進に心からの拍手をおくります。

ここに三十周年を迎えられるにあたり、改めて関係者各位のご尽力に深く敬意を表しますとともに、さらに一層のご発展を心から祈念してやみません。